

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月12日

**【四半期会計期間】** 第87期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社大紀アルミニウム工業所

**【英訳名】** DAIKI ALUMINIUM INDUSTRY CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 山本隆章

**【本店の所在の場所】** 大阪市西区土佐堀一丁目4番8号

**【電話番号】** 06(6444)2751 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理部長 小川泰司

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市西区土佐堀一丁目4番8号

**【電話番号】** 06(6444)2751 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理部長 小川泰司

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第86期 第2四半期 連結累計期間	第87期 第2四半期 連結累計期間	第86期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	52,286,308	63,188,846	105,265,564
経常利益	(千円)	376,418	902,403	294,312
四半期純利益又は当期純損失 ( )	(千円)	134,391	398,989	101,486
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	198,072	1,330,490	633,662
純資産額	(千円)	18,168,055	20,079,249	18,873,176
総資産額	(千円)	54,620,655	64,347,466	57,304,796
1株当たり四半期純利益金額又 は当期純損失金額( )	(円)	3.25	9.64	2.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	3.19	9.48	
自己資本比率	(%)	32.80	30.83	32.48
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	945,052	4,690,154	361,544
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	573,973	499,109	1,905,801
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	3,385	5,264,978	444,502
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,143,249	2,813,770	2,659,334

回次		第86期 第2四半期 連結会計期間	第87期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	3.90	2.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3. 第86期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策、金融政策の効果により円安・株高基調となり景気回復への期待感が高まりました。一方、海外では、欧州債務問題の長期化や中国をはじめ新興国の減速懸念等、景気下振れリスクが存在し、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

こうした環境のもと、当社グループの大手需要先である自動車メーカーは、円安への転換等もあり、企業収益が好転し、また需要も堅調に推移しました。その影響を受けて、当社グループの製品等の需要も緩やかな上向きで推移しました。

この結果、当社グループの第2四半期連結売上高につきましては、アルミニウム二次合金地金388億5千3百万円（前年同期比26.0%増）、商品・原料他243億3千5百万円（前年同期比13.4%増）で、これらを併せた売上高総額は631億8千8百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

収益面につきましては、国内において、製品と原料の価格差が改善されました。一方、海外の連結子会社ダイキアルミニウム インダストリー インドネシアが急激な為替変動による為替差損が発生したことや輸入原料が高騰したこと等で業績が落ち込みました。その影響により、経常損益につきましては、9億2百万円の利益（前年同期比139.7%増）となり、四半期純損益は3億9千8百万円（前年同期比196.9%増）の利益を計上することとなりました。

事業別セグメントの状況は、次のとおりであります。

アルミニウム二次合金事業は、国内においては製品と原料の価格差が改善されましたが、海外の連結子会社ダイキアルミニウム インダストリー インドネシアが急激な為替変動による為替差損が発生したことや輸入原料が高騰したこと等の影響を受けて、売上高は626億5千5百万円（前年同期比21.2%増）、営業損益は11億8千5百万円の利益（前年同期比123.1%増）となりました。

その他の事業セグメントは、依然として厳しい状況で推移したことにより、売上高は6億6千8百万円（前年同期比9.8%減）、営業損益は8千2百万円の損失（前年同期は4千万円の損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億5千4百万円増加し、28億1千3百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の減少は、主に売上債権が増加したことと、仕入債務が減少したことにより46億9千万円（前年同期は9億4千5百万円の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出により4億9千9百万円（前年同期は5億7千3百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の増加は、主に短期借入金の純増減額が増加したことと長期借入れによる収入や返済による支出により52億6千4百万円（前年同期は3百万円の増加）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4千2百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	160,000,000
計	160,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	43,629,235	43,629,235	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	43,629,235	43,629,235		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		43,629,235		6,346,642		2,400,164

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成25年9月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
有限会社山本エステート	大阪府豊中市南桜塚1丁目2番1号	3,480	7.98
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町二丁目2番1号	1,904	4.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	1,580	3.62
大紀アルミ得意先持株会	大阪市西区土佐堀1丁目4番8号	1,365	3.13
山本喜代	大阪府豊中市	1,276	2.92
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	1,004	2.30
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	1,003	2.30
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	1,002	2.30
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	837	1.92
山本暉郎	大阪府豊中市	769	1.76
計		14,223	32.60

- (注) 1 上記のほか、当社所有の自己株式2,200千株(5.04%)があります。  
 2 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。  
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 281千株  
 3 上記大株主の山本喜代氏は、平成25年3月29日逝去されましたが、相続手続中のため平成25年9月30日現在の株主名簿上の名義で記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,200,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 41,237,000	41,237	同上
単元未満株式	普通株式 192,235		同上
発行済株式総数	43,629,235		
総株主の議決権		41,237	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2千株(議決権2個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 大紀アルミニウム工業所	大阪市西区土佐堀一丁目 4番8号	2,200,000		2,200,000	5.04
計		2,200,000		2,200,000	5.04

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,675,940	2,830,945
受取手形及び売掛金	<sup>3</sup> 24,442,683	<sup>3</sup> 30,267,942
商品及び製品	6,836,722	7,425,402
仕掛品	118,509	139,855
原材料及び貯蔵品	7,060,788	6,973,106
繰延税金資産	72,008	137,624
その他	900,365	1,099,300
貸倒引当金	56,696	62,251
<b>流動資産合計</b>	<b>42,050,322</b>	<b>48,811,925</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	9,860,316	10,057,914
減価償却累計額	6,131,902	6,290,516
建物及び構築物(純額)	3,728,413	3,767,397
機械装置及び運搬具	18,969,600	19,449,647
減価償却累計額	15,864,151	16,282,970
機械装置及び運搬具(純額)	3,105,448	3,166,676
工具、器具及び備品	1,047,066	1,129,195
減価償却累計額	673,359	704,319
工具、器具及び備品(純額)	373,706	424,876
土地	3,359,554	3,399,840
リース資産	340,507	368,384
減価償却累計額	67,708	96,184
リース資産(純額)	272,798	272,199
建設仮勘定	135,494	234,164
<b>有形固定資産合計</b>	<b>10,975,416</b>	<b>11,265,155</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	14,230	2,544
その他	90,958	87,964
<b>無形固定資産合計</b>	<b>105,188</b>	<b>90,509</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,154,059	3,654,873
長期貸付金	12,993	11,504
繰延税金資産	550,843	69,683
その他	629,834	637,381
貸倒引当金	173,861	193,567
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>4,173,869</b>	<b>4,179,876</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>15,254,474</b>	<b>15,535,541</b>
<b>資産合計</b>	<b>57,304,796</b>	<b>64,347,466</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	<sup>3</sup> 7,289,132	<sup>3</sup> 6,551,087
短期借入金	22,613,399	28,416,107
未払金	403,278	493,447
未払法人税等	102,317	196,907
未払消費税等	73,815	20,674
未払費用	892,219	995,942
役員賞与引当金	1,700	-
賞与引当金	169,296	227,255
その他	255,654	420,838
流動負債合計	31,800,814	37,322,259
<b>固定負債</b>		
長期借入金	5,725,512	6,129,391
退職給付引当金	365,904	316,193
役員退職慰労引当金	27,540	24,418
資産除去債務	97,345	98,465
その他	414,503	377,487
固定負債合計	6,630,806	6,945,957
負債合計	38,431,620	44,268,217
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,346,642	6,346,642
資本剰余金	8,852,088	8,838,268
利益剰余金	3,910,181	4,185,284
自己株式	784,476	739,483
株主資本合計	18,324,435	18,630,712
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	585,814	973,314
繰延ヘッジ損益	63,461	30,943
為替換算調整勘定	361,261	203,476
その他の包括利益累計額合計	288,014	1,207,734
新株予約権	196,809	165,105
少数株主持分	63,916	75,697
純資産合計	18,873,176	20,079,249
負債純資産合計	57,304,796	64,347,466

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	52,286,308	63,188,846
売上原価	49,814,398	59,928,548
売上総利益	2,471,909	3,260,298
販売費及び一般管理費		
運搬費	854,937	968,482
貸倒引当金繰入額	-	5,129
役員退職慰労引当金繰入額	2,668	2,071
賞与引当金繰入額	55,039	61,889
その他	1,074,261	1,135,463
販売費及び一般管理費合計	1,986,906	2,173,036
営業利益	485,002	1,087,261
営業外収益		
受取利息	3,844	16,099
受取配当金	50,495	43,153
持分法による投資利益	43,513	-
貸倒引当金戻入額	32,165	-
技術指導料	20,042	20,696
鉄屑売却益	32,072	42,169
その他	72,506	39,306
営業外収益合計	254,640	161,425
営業外費用		
支払利息	248,629	255,085
手形売却損	2,005	2,100
休止固定資産減価償却費	25,403	352
持分法による投資損失	-	21,276
為替差損	57,808	50,565
その他	29,376	16,902
営業外費用合計	363,224	346,283
経常利益	376,418	902,403

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	1,136	1,094
新株予約権戻入益	280	616
受取補償金	-	<sup>1</sup> 285,720
<b>特別利益合計</b>	<b>1,417</b>	<b>287,431</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	30,406	22,683
投資有価証券評価損	7,715	5,054
割増退職金	-	14,783
たな卸資産処分損	-	<sup>2</sup> 218,755
<b>特別損失合計</b>	<b>38,121</b>	<b>261,277</b>
税金等調整前四半期純利益	339,713	928,558
法人税、住民税及び事業税	86,626	201,895
法人税等調整額	116,733	321,844
<b>法人税等合計</b>	<b>203,359</b>	<b>523,739</b>
少数株主損益調整前四半期純利益	136,354	404,818
<b>少数株主利益</b>	<b>1,962</b>	<b>5,829</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>134,391</b>	<b>398,989</b>

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	136,354	404,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	277,525	387,499
繰延ヘッジ損益	30,261	32,517
為替換算調整勘定	55,065	522,127
持分法適用会社に対する持分相当額	28,425	48,562
その他の包括利益合計	334,426	925,671
四半期包括利益	198,072	1,330,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,606	1,318,709
少数株主に係る四半期包括利益	2,533	11,780

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	339,713	928,558
減価償却費	587,622	661,051
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,285	50,482
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	812	3,121
貸倒引当金の増減額(は減少)	33,012	5,129
受取利息及び受取配当金	54,340	59,253
支払利息	248,629	255,085
持分法による投資損益(は益)	43,513	21,276
固定資産除売却損益(は益)	29,269	21,588
受取補償金	-	285,720
売上債権の増減額(は増加)	2,455,727	5,227,352
たな卸資産の増減額(は増加)	905,882	26,038
仕入債務の増減額(は減少)	228,756	982,333
その他	46,480	78,884
小計	659,223	4,662,727
利息及び配当金の受取額	87,200	81,943
利息の支払額	295,831	270,124
法人税等の支払額	77,197	124,966
補償金の受取額	-	285,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	945,052	4,690,154
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	518,480	506,332
有形固定資産の売却による収入	4,888	1,400
投資有価証券の取得による支出	38,963	90
短期貸付けによる支出	20,000	-
短期貸付金の回収による収入	215	22
その他	1,632	5,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	573,973	499,109
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	207,235	5,268,336
長期借入れによる収入	1,883,464	1,411,168
長期借入金の返済による支出	1,103,823	1,262,352
社債の償還による支出	300,000	-
自己株式の純増減額(は増加)	114	85
配当金の支払額	247,779	123,886
その他	21,125	28,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,385	5,264,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,559	78,719
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,506,080	154,435
現金及び現金同等物の期首残高	3,081,110	2,659,334
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	568,219	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 2,143,249	<sup>1</sup> 2,813,770

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 (偶発債務)

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
ダイキ オーエム アルミニウム インダストリー (フィリピンズ)	138,195千円	137,601千円

2 (手形割引高)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	403,691千円	22,329千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、連結子会社の四半期決算日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	284,910千円	15,655千円
支払手形	212,469千円	470千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 受取補償金は、東京電力(株)からの受取補償金であります。

2 たな卸資産処分損は、受取補償金受領に伴う処分義務確定によるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	2,159,128千円	2,830,945千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	15,878千円	17,175千円
現金及び現金同等物	2,143,249千円	2,813,770千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	247,779	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	123,888	3.00	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	123,886	3.00	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月11日 取締役会	普通株式	124,287	3.00	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	51,572,526	713,781	52,286,308		52,286,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	135,741	27,812	163,553	163,553	
計	51,708,267	741,593	52,449,861	163,553	52,286,308
セグメント利益又は セグメント損失( )	531,618	40,090	491,528	6,525	485,002

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業及びアルミニウム溶解炉事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 6,525千円には、のれんの償却額 12,270千円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	62,568,137	620,709	63,188,846		63,188,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,208	48,175	135,383	135,383	
計	62,655,345	668,884	63,324,230	135,383	63,188,846
セグメント利益又は セグメント損失( )	1,185,955	82,074	1,103,881	16,619	1,087,261

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業及びアルミニウム溶解炉事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 16,619千円には、のれんの償却額 11,685千円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3円25銭	9円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	134,391	398,989
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	134,391	398,989
普通株式の期中平均株式数(株)	41,296,483	41,371,897
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3円19銭	9円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	768,619	702,429
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第87期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当について、平成25年11月11日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	124,287千円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月5日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月5日

株式会社大紀アルミニウム工業所  
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 辻内章印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森村照私印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大紀アルミニウム工業所の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大紀アルミニウム工業所及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。